



東成瀬村

# 議会だより

No.173

平成26年 1月20日発行



## 新春カルタとり

1/10 なるせ保育園祖父母参観



12月定例会

# 通年議会の導入を決定

平成26年1月から施行へ



1月7日に定例会が招集され通年議会がスタートしました

12月定例会は、9日から13日までの5日間の会期で開催されました。

村長から提案された条例など9件、補正予算7件と通年議会施行に伴う議員発議による条例など5件の合計21件と陳情6件を採択、1件を趣旨採択とし、議員発議の意見書6件をすべて全会一致で原案のとおり可決しました。

また、一般質問は2議員が登壇し、村政をたどりました。

## 定例会は年1回に

通年議会導入は県内初

議会改革に取り組むため、平成23年9月定例会において議会改革特別委員会を設置し、通年議会の検討を重ねてきました。

平成24年4月、5回の特別委員会を経て通年議会の導入を目指すことに決定し、スケジュールなどを取りまとめ同年6月定例会において導入の意思を報告しました。

その後、約1年余り村当局と具体的な協議に入り、平成25年9月定例会で試行し、12月定例会の最終日に関係する条例の改正案を提出し、全会一致で可決され、平成26年1月から施行することに決定しました。（詳しい内容は9頁に掲載）



## 年頭あいさつ

議長 富田 義行



明けましておめでとうございます。

年の始めは、来し方を振り返り、今を知って、迎えた年に希望を抱くときです。

昨年11月、保育園の発表会で、大震災の被災地を「花は咲く」のメロディによる園児たちの舞を目にしました。

震災からまもなく3年も経つというのに、今この瞬間も、27万人が避難生活にあり、原発事故では故郷の生活を絶たざるをえない方々が同じ東北、同じ国におられる姿を、新年の慶びとは対にある一方の現実として私は直視します。「早く復旧・復

興を」に加え、何よりも原発で奪われた「ふるさとを返せ、命を返せ」の叫びに、かたい絆をもって連帯したいと思えます。

原発事故は、人々の価値観にも大きな影響を及ぼしたといわれ、世界規模のそれは各国のエネルギーや食糧確保という社会構造の根本政策にまで波及しています。

大量生産、大量消費、大量放棄にまで進んだわが国の社会構造は、海外仕込みでつくられたといえます。しかし、そろそろ再生可能な社会・産業政策に舵を切り替え、個人の生活も再生を強く意識したものにならないと、失われたものを取り戻す国は実現できないように思えます。

わが村は、村だからこそできる社会・産業政策の方針をつくり、その実現につとめています。今後は、再生社会やゆとりを意識した国民の志向変化、世界の食糧事情のすう勢や生活水準をあげている世界各国の流れをよくつかみ、308畝のたんぼと45畝の畑、131畝の牧野、5958畝の広葉樹と杉の林野、栗駒と焼石の二つの絶景地と温

泉、つまり、山と水と農林を結ぶ産業政策、資源フル活用の創意が私たちに求められています。

わが村が美しいといわれるこの資源を物づくりと観光に活かせる土台は、多くの先達と、いま産業に篤のある方々の努力によって築かれました。これを新たな力で発展させるべく、飛躍の準備となるような午年にしてゆきたいものです。

議会は、人々の生活環境やあらゆる社会・産業政策を前進させるうえで、村政の重要な一翼を担い、チェック機能とともに政策提言の力もいっそう強く求められます。

この度、議会の会期をほぼ通年にしたことは、そうした議会機能の強化を視野においたもので、これに連動する改革を活かした活動に我々は全力をあげる決意です。結びに、豪雪の中、村の安寧と皆様のご健勝を心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

## 村長の専決事項を条例で定める

### 通年議会施行に対応

閉会期間がほとんどない通年議会では、村長が議会を経ないで処理できる専決処分ができなくなります。しかし、これにより行政運営に支障が生じては導入する意味が失われることとなります。

そこで、あらかじめ、村長が専決できる事項を定め、円滑な行政運営を行うための条例を制定しました。

### ◆村長が専決処分できる事項◆

- ① 1件5000万円以上の工事又は製造の請負契約で500万円の範囲内で契約額を変更すること。
- ② 村に義務のある100万円未満の損害賠償額の決定、和解や調停に係る予算を補正すること。
- ③ 災害など突発的な事故に対する応急的な予算を補正すること。
- ④ 解散・欠員等の事由における選挙費用の予算を補正すること。
- ⑤ 会計年度末における地方交付税等の確定に伴う予算を補正すること。
- ⑥ 会計年度末における繰越額など3項目の補正をすること。
- ⑦ 条例の主旨を変えない範囲の字句の修正すること。
- ⑧ 会計年度末における地方税法の改正に伴う条例を改正すること。



# 主な質疑

12月定例会2日目の11日と最終日となった13日に議案に対する質疑が行われました。

主な質疑の内容を要約してお伝えします。

## 一般会計は9156万9千円の追加 広域消防のデジタル無線整備に6670万円

### 温泉源泉施設設置条例

**質問** 指定管理をするために設置条例を制定するのか。

**答弁** 供用を開始し、併せて指定管理をする提案と理解してほしい。

**質問** 施行期日が来年の4月1日となっているが、その間の管理はどうするか。

**答弁** 村で管理する。

**質問** 温泉は既に料金を徴収しているが、問題はないか。

**答弁** 源泉の利用料は定めていない。温泉の利用料は、スキー場設置条例で定めている。



日本消防協会から寄贈された防災活動車

還暦トックに163人の申込み  
— 一般会計補正予算(第6号)

**質問** 福祉灯油購入費助成金は村単独事業か。

**答弁** 単独事業となっている。県では県内市町村の状況をみて補助を行うか検討するとの回答を得ている。

**質問** 人間ドック補助金が追加となっていて、受ける人はどれくらい増えたか。また、募集方法を変えるなどそのような効果によるものか。

**答弁** 今年度から行った60歳から64歳を対象とした還暦ドックに対する申込みが163人となり、大幅に増えたことによるもので募集方法に大きな変化はない。

**質問** 公共畜産事業で着工が遅れた理由は、また、施設の管理は決まっているか。

**答弁** 政権交代により、それまで内閣府所管の一括交付金だったが、農水省所管となり、事業全体に見直しがあり、一定の時間を要した。

施設の管理は、施設が全部完成した時点で牧場も含め、公募による指定管理を考えている。現時点でどこになるか決まっていない。

**質問** 地域高性能林業機械導入事業における機械はどのようなものか。

また、湯沢市・羽後町の負担金の額は。

**答弁** 1台は、フォワーダー4トンという機械で、キャタピラ付きで山林の中を自由に動けるもの、もう1台は、グラップル付きトラックで伐採した樹木をつかんで集め運搬できるトラックとなっている。価格はそれぞれ、1100万円、2000万円となっている。

事業に対する負担金は、湯沢市が463万円1千円、羽後町が197万3千円となっている。村の負担金を含め全体事業費の約4分1相当で、民有林の面積の割合で決めている。村の面積割合は、15%となっている。

**質問** 日本消防協会から寄贈された防災活動車の活用方法を伺う。

**答弁** マツダボンゴ5人乗り、民生課で管理し、災害時、遭難などに現場に駆けつける。

**質問** 広域消防のデジタル無線整備の事業費総額と負担金の内訳は。

**答弁** 湯沢市が7億6608万9千円、羽後町が2億950万2千円、村が6670万円7千円、10億4229万8千円の事業費となっている。



# 請願・陳情

12月定例会には、7件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果6件を採択すべきもの、1件を趣旨採択すべきものとし、要請に基づき、6件について意見書を提出することに決定しました。

## 採択とした陳情

○日本国憲法をいかに、安定した雇用の実現を求める陳情

(陳情者) 秋田県労働組合総連合

議長 佐々木 章

○介護職員の処遇改善を求める陳情

(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 中村 秀也

○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情

(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 中村 秀也

○医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情

(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会

会長 渡辺 淳

○免税軽油制度の継続を求める陳情

(陳情者) 東北索道協会 秋田地区部会

会長 中島 秀美 外1名

○「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」改正を求める意見書採択についての陳情

(陳情者) 秋田県原爆被害者団体協議会

会長 小山 春雄

○TPP交渉に関する陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会

委員長 鈴木 万喜夫

## 趣旨採択とした陳情

25年度一般会計補正予算(第6号)の主なもの	
<b>歳入</b>	
○分担金及び負担金	
簡易ほ場整備事業費負担金(新)	160万円
○国庫支出金	
自立支援給付費負担金の増	254万円
元気臨時交付金の増	5,230万円
農業基盤整備促進事業補助金(新)	401万円
○県支出金	
福祉医療給付費補助金の増	100万円
子どもふるさと交流支援事業補助金(新)	65万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金の増	1,000万円
○村債	
過疎対策事業債の減	▲1,380万円
市町村振興資金の減	▲3,500万円
緊急防災・減災事業債(新:広域消防無線整備)	6,600万円
<b>歳出</b>	
○総務費	
施設管理費の追加	91万円
公用車購入費の減	▲58万円
○民生費	
福祉灯油購入費助成事業助成金(新)	173万円
障害者自立支援事業給付費の追加	105万円
福祉医療費の追加	350万円
介護保険(保険事業)特別会計繰出金の追加	319万円
児童手当の追加	189万円
○衛生費	
簡易水道事業特別会計繰出金の減	▲560万円
風しん予防接種助成金の追加	129万円
各種人間ドック補助金の追加	162万円
○農林水産業費	
育苗センター大規模改修の減	▲3,800万円
草地畜産基盤整備事業の追加	3,376万円
簡易ほ場整備事業(新)	1,852万円
地域高性能林業機械導入事業(新:補助金)	118万円
○土木費	
冬季交通対策費(除雪費)の追加	235万円
消防施設整備費負担金(新:広域消防無線整備)	6,671万円
防災活動車(新:諸経費・燃料費など)	38万円
○教育費	
中学校大会派遣費助成金の追加	114万円
保健体育費・スポーツ交流事業補助金の追加	23万円

## ちよつと一息



本会議2日目となる11日に魁新報社のコラム「遠い風・近い風」に寄稿している詩人・エッセイストの佐々木桂さん(岩井川出身)が、一般質問の傍聴に訪れました。

佐々木さんは、12月10日小学校で開催された「ふるさと先生」の講師で帰省された際に来場したとのことで、「自分の故郷を見つめるために、いつか来たいと思っていた」そして、帰り際にひと言「村長も大変だね!」…確かに!



真剣な眼差しで傍聴する佐々木さん(中央)



佐々木 正利 議員

## 良質「やまゆり温泉」一気呵成に誘客を

### 村長 対応が遅れたことは否めない

**質問** 新温泉の名称を「やまゆり温泉」としたが、施設周辺で村の花であるやまゆりを見かけない。温度・湯量とも申し分なく、良質な温泉が湧出した現在、やまゆりを活用するなど一気呵成に誘客活動を図るべきと考えるが、誘客対策をどのように考えているか。

**村長** これまで、できる限りのPR活動を展開してきたが、我々の対応が少し遅れていたことは否めない。課題はこれからの広報で、新聞広告、チラシに対して精力的に対応し、インターネットでさえも情報の掲示が遅れているというところで、その都度、修正、訂正をして、十分配慮して集中的に対応していきたい。

やまゆりがあまり見受けられないということもあるので、集中的に植えていくことも考えていかなければならぬだろうと思う。ユリ根を活用したプランでの提供する料理の中に、そういうメニューもできないか既に検討、指示している。

**再質問** 元の休養センターのような施設をホテル近くに建てる考えは持っていないか。

**村長** 利用の人数等もいろいろ検討しますと、かなり厳しいのではないかと。現時点では計画していない。

土砂災害警戒区域指定について

**質問** 国は土砂災害の恐れがある箇所を都道府県に対し、被害が及ぶ地域を土砂災害警戒区域に指定し、避難の仕組みを整備するよう求めている。本村に県が指定した箇所は無いが、村内に国が土砂災害の危険性を指摘している箇所は何箇所か。

**村長** 国土交通省の所管では土石流の危険渓流が34箇所、急傾斜地崩壊危険箇所が34箇所、地すべり危険箇所が10箇所となっており、林野庁所管分で4箇所ある。トータルで82箇所の土砂災害の危険箇所がある。

**質問** 秋田県が指定しなくても住民に周知する考えはあるか。

**村長** 県が主体となって村と共同で、1月から2月にかけて村内では4地域を会場にして危険箇所を提示した地図を住民の方々に見ていただきながら説明会を開催する段取りとなっている。県事業では危険箇所への看板の設置も計画されている。

新規雇用奨励金要綱について

**質問** 対象社員の中途退職や採用一年後の事業主都合による解雇の場合、報告はどのように取り扱われているか。要綱には書類による提出の義務の記述は無いように思うが、村費補助規則の計画変更で取

り扱われているか。

**村長** 補助金申請前に事前協議で申請事業所の状況を聞き取り、書類の確認と実績報告を見ながら補助金を交付している。年度当初に一括申請でなく、数回に分けて実績に合わせた交付を決定している。その事業の中に変更があった場合については、対応額、相当額をしっかりと確認の上で補助金を交付している。





佐々木 健 夫 議員

## 新規起業等育成、計画に沿った展開か

### 村長 順調に進んでいると理解している

**【質問】** 新規起業等育成事業は1起業の補助限度額が3500万円と多額であり、行政の期待の表れと思うが、計画に基づく実績はどのような現状になっているか。

また、雇用の拡大や経済に貢献するという目的のためにも、本気度、強い心構えなど当事者に強力に示唆し、奮い立たせる行政指導が必要でないか。

**【村長】** 平成22年度から4年間で8事業所が起業した。事業計画・内容に沿って特色のある事業展開を行っており、雇用環境の充実など産業振興と併せて寄与しており、現状では要綱等に定める内容に沿った事業として順調に進んでいるものと理解している。経営については必要に応じて村商工会が中心となって指導をいただいている。村としては、各事業所とも自らに関わる経営でもあり、しっかりとした対応を期待している。

学力テスト結果公表・国の教育改革に対する見解は

**【質問】** 全国学力テスト結果公表が論議されているが、どのように考えているか。

また、国の教育再生委員会などでは大胆な教育改革が論じられており、道徳の教科化、首長の教育行政への権限強化など見直し案ではあるがこれに対する見解を伺う。

**【村長】** 学力テスト結果公表は、序列化、過度な競争を避ける意味から公表は避けたいという方向に変わりにない。教育行政を進めるにあたり、教育委員会は特別の機関であり、首長が教育長を指名、任命する考えはない。

**【教育長】** 結果公表は行わないという現状を維持し、指導方法の工夫・改善などに努め、学力向上を図ることが一番大事だと考えている。道徳の教科化は検定教科書、評価、専門教員免許など課題が多く慎重に審議いただ

くこととその推移を見守る必要がある。

TPP参加と減反廃止に伴う今後の農業政策は

**【質問】** TPP参加は農業だけでなく日本経済に対するマイナス面が大きく危惧されていることや減反廃止に伴う補助金の見直しなど農業政策の今後の対応をどのように考えているか。

**【村長】** TPPについては反対という立場を堅持している。交渉が正式に決定し、その内容を検討して対策を講じることになる。

農業の振興については、国や県が大規模で効率的な農業を推進しているが、本村は地形上、難しいことや後継者不足などの課題も抱えており、地域全体で農業を守り育てていくことも重要な要素で、その手法の一つとして法人化に取り組んできた。今後、この法人化を中心とした担い手の確保、ブランド化、独自産業化の推進が生き残りをかけた政策になってくる。





# 備えあれば憂いなし

地域防災計画見直し、防災行政に提言書

東日本大震災や全国各地で広域又は局地的に極端な天候などによる大規模な自然災害が発生していることで、防災への意識は確実に高まっています。

村議会においても平成23年6月定例会で設置された災害対策特別委員会が山梨県道志村や長野県栄村など県内外へ計4回の調査活動を実施しています。

これらの調査結果や過去の被災経験を踏まえ、現在見直しが行われている地域防災計画などで取り組むべき事項について提言書を作成し、12月2日に村へ提出しました。



村長へ提言書を直接手渡しました

## 提言書の項目

- 1 地域防災計画について
  - (1) 一般災害対策編
  - (2) 震災対策編
- 2 総合的な防災・災害対策について
  - (1) 防災意識の普及啓発
  - (2) 災害対策本部の体制強化
  - (3) 栗駒高原周辺の情報伝達
  - (4) 避難所対策
  - (5) 降雪期の災害発生への対応
  - (6) 公用車・公共施設のエネルギー確保
  - (7) ヘリポート
  - (8) 要援護者対策
  - (9) 議会との連携
  - (10) その他

## 12月定例会議決事項名

字の区域変更について（成瀬ダム建設に伴う工事で国有林野との字界に変更が生じた。椿川字トクラ）	平成25年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第3号）（129万円の追加）
村長専決条例について（通年議会の施行に伴い、村長が専決処分できる事項を定めた）	平成25年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）（2,881万円の追加）
光放送システム構築準備基金条例の一部を改正する条例について（防災デジタル無線施設整備費用に充てることができるようにした）	平成25年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第4号）（300万円の追加）
	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）（688万円の追加）
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について（地方税法の改正に伴うもの）	平成25年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）（47万円の追加）
介護保険条例の一部を改正する条例について（地方税法改正に伴うもの）	湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更について
ミニライセンター設置条例の一部を改正する条例について（岩井川と手倉のミニライセンターを加えた）	議会定例会の回数を定める条例について
中小企業振興融資斡旋に関する条例の一部を改正する条例について（中小企業基本法等の改正に伴うもの）	議会定例会招集時期に関する規則の一部を改正する規則について
温泉源泉施設設置条例について（新たに湧出した温泉の名称などを定めた条例）	議会委員会条例の一部を改正する条例について
平成25年度一般会計補正予算（第6号）	議会会議規則の一部を改正する規則について
平成25年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）（916万円の追加）	議会傍聴規則の一部を改正する規則について



# 議会はこのように変わります！

## 県内初の通年議会を採用

12月定例会で会期をほぼ年間とする通年議会の条例案が可決され平成26年1月から施行しています。  
1月7日には定例会が招集され、会期を12月12日までの340日間とすることに決定しました。

村議会では、議会の機能向上と活性化、議員の資質向上を図る観点から論議を重ね、県内初となる通年議会を導入しました。  
主な内容をQ&A方式で解説します。

### 通年議会 Q&A

委員会では、制限がなくなり活動の幅が格段に広がります。  
こうしたことで新たな行政課題へ適時に対処することができ、柔軟で迅速な議会運営が可能となります。

Q どうして導入するのか？

A 地方分権により、自治体の権限が拡大しており、議決権を有する議会の役割は非常に大きくなっていきます。

さらに、議員定数の減少により議員一人の活動範囲も広がっていることから、行政課題に対する調査活動などに要する期間や幅を広げる柔軟性と災害など緊急を要する事態に対し迅速に対応できる体制の強化が必要となつていくためです。

Q 行政運営は混乱しませんか？

A 従来どおり四半期に1回は定例的に会議を再開することで行政運営に支障がないよう配慮しています。

また、会議の名称も「第〇回〇月〇〇会議」と明確に区分することとしていますので混乱は生じません。

Q 通年議会って？

A 従来は、年4回の定例会と臨時会で開会日数が約1ヶ月程度でしたが、これからは定例会を年1回とし、会期は1月から12月までとなり大幅に長くなります。

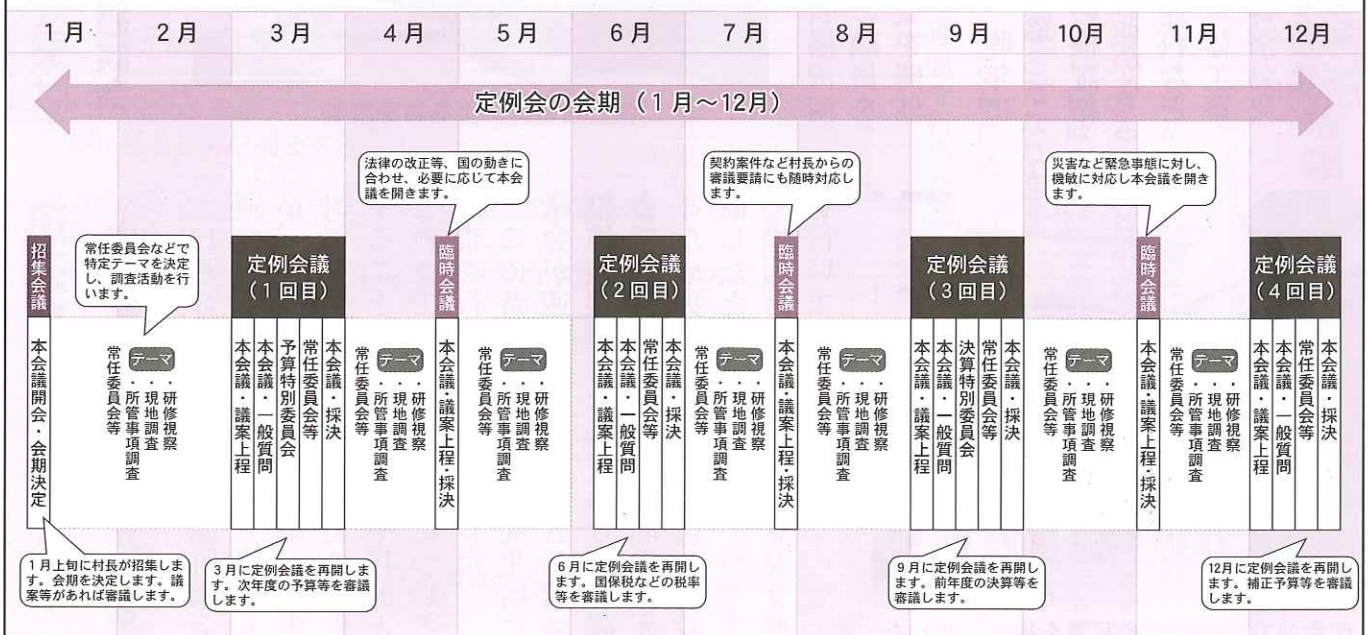
Q 導入のメリットは？

A 緊急を要する行政課題が発生した場合、議長の宣告で会議を再開でき、審議の迅速化が図られます。

また、今までは会議の開催中や事前に議決した事項に限って活動していた常任

### 通年議会の会期イメージ

災害など突発的な事態・行政課題へ迅速で適切な対応





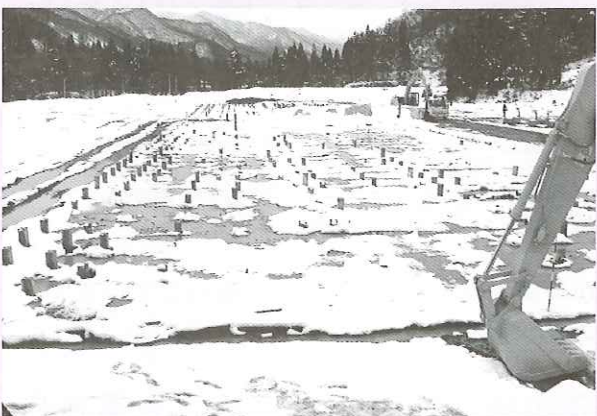
# 常任委員会合同で村内施設訪問と工事状況視察

11月29日、常任委員会合同で、村内施設の訪問と村が発注した工事の状況を視察しました。

施設訪問は、小・中学校と幸寿苑で、現在の運営状況や要望を聴きました。

工事状況は、主に部落要望となった箇所を中心に視察し、現場において担当職員からどのような工事を行ったか説明を受けました。

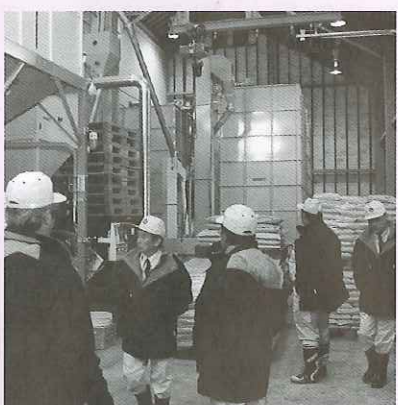
また、県農業公社が発注した公共畜産事業の畜産施設建設現場も視察しました。



畜産施設の建設現場



やまゆり温泉源泉施設



岩井川ミニライスセンター



東成瀬中学校

# 成瀬ダムの経済効果は

行政懇談会



各担当課長による事業説明

10月30日、国土交通省湯沢河川国道事務所から8名の職員をお招きして、行政懇談会を開催しました。

今年の研修テーマは、昨年引き続き「成瀬ダム事業」で、国が実施していた事業の検証結果、継続が決定したことから、検証作業による事業の遅れなど今後のスケジュールや本體工事の着工に伴う、事業の経済効果について、青森県津軽ダム建設の例をもとに説明を受けました。

# 迅速な対応を求めて

山形県白鷹町議会が視察

11月8日に山形県白鷹町議会運営委員会など8名の皆さんが、本村議会で議会改革と災害対策の2つの特別委員会を設置することになった経緯や目的とこれまで実施した内容について調査を行うため訪れました。

この背景には、災害発生時に議会が速やかに活動できる環境整備が課題となっており、村議会では、常に動ける体制を整えるため災害対策特別委員会を設置したとの説明に大きくうなずく場面もあり、活発な意見交換を行いました。



庁舎前で訪問の記念写真を撮影しました



# ラジオ放送受信状況の改善を新たに要望

## 中央要望会

10月23・24日の2日間にわたり、村当局と合同で中央要望会を実施しました。

要望先は、秋田県選出等国会議員と総務省・国土交通省・財務省で、内容は昨年に引き続き地方財政の充実強化、地域の期待にこたえる成瀬ダム建設促進と水源地となる村の活性化に向けた施策の推進のほか、新たにNHK第一放送の難聴対策として「ラジオ放送受信状況の改善」を要望に加えました。



金田勝年衆議院議員（秋田2区）

## 要望が実る!

今回、新たに要望したAMラジオのNHK第一放送の受信改善に対し、要望先の国会議員を通じて、12月3日の国会総務委員会で本村からの陳情を具体的に示し、難聴問題が取り上げられました。

これに対し、新藤総務大臣は「山間地域でAM放送が届かない場合、FM方式の中継局設置を可能とする法整備を実施したい」と答弁され、早速、NHKの職員が本村を訪れ「平成27年度に中継局の整備を行う予定である」との回答が届きました。



高橋千鶴子衆議院議員(比例東北ブロック)にラジオ難聴を訴える村長

## 掲示板

議会では、これまで発行した「議会だより」の縮刷版（B5版上製本）の発行を計画しています。

完成は年度末の3月を予定しており、希望者に対し、実費で販売することとしています。

金額は決まっていますが、2月をめどに各戸に申込みを募る予定です。



## 創立25周年記念総会は名門「椿山荘」で

### 首都圏なるせ会

今年の首都圏なるせ会総会は創立25周年を記念し、広大な庭園を擁し、国の登録有形文化財「三重塔」が建つ椿山荘（東京都文京区）で開催されました。

総会には総務民生常任委員会の各委員が出席し、終了後の懇親会では故郷と首都圏の状況をお互いに語り合いました。



懇親会で乾杯の音頭をとる富田議長





FMゆーとぴあ  
76.3MHz

# この人に聞きたい

## かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回はFMゆーとぴあ（湯沢市のFMラジオ放送局）のパーソナリティとして活躍されている佐藤陽さんにインタビューしてみました。

明るく元気で楽しい陽さんでした

- かほ** 滝ノ沢出身ですよね。  
**みなみ** そうですよ！
- かほ** 家族構成、年齢など。  
**みなみ** 両親と兄、20代です。
- かほ** マイブームは？スキー、上手ですよねえ。  
**みなみ** 観光地に出かけるとかあ・スキーは全然やっとなーい、行かないよねえ、かほは行って？
- かほ** 行ってない(笑)・・・パーソナリティになろうとしたのはいつ頃ですか？  
**みなみ** 3年ほど前かなあ？
- かほ** 話すことが好きだった？  
**みなみ** 人前で話すのはいやじゃなかったからこういう仕事をしてみたいと思っていました。
- かほ** 話題も豊富で知識も広い職業だと思います。生放送は緊張しませんか？  
**みなみ** 結構言われるけど、皆さんのメッセージから学ぶ事が多くて勉強になります。前はすごく緊張しました。今も緊張するけど楽しいから。
- かほ** イベントの司会も多いと思いますが、苦労する場面など？  
**みなみ** そうねえ・・・式典とかすっごく緊張します。間違っちゃいけない！って(笑)。
- かほ** 逆に楽しいことは？  
**みなみ** 生放送のときにメッセージが届くと「今、聴いていただいているんだな」とかイベントのときに「いつも、みなみちゃん放送聴いてるよ」とって声かけてもらうのがすっごく嬉しいですよ！
- かほ** 今は、いつもと逆でインタビューされていますね(笑)。  
**みなみ** 聞かれてる方も大変なんだなと思います。ハイ(爆笑)。
- かほ** AKB48の高橋みなみさんに似てますよね、名前も同じだし、ファンも多いのでは？  
**みなみ** ホント？私より若い男の子が、たまーにそういつてくれるけどね(笑)。
- かほ** 恋人・・・は？  
**みなみ** 聞きたい？私の恋人事情に興味ある？まあ、いろいろあるからね・・・とりあえずいます！今後どうなるかわかりません！
- かほ** 最後に皆さんへひとこと！  
**みなみ** いつもラジオ聴いていただいてありがとうございます。イベントなどあります。イベントなどおかけ下さいます。私も一緒に楽しみたいです。佐藤みなみ！よろしくお祈りしますっ！
- かほ** 今日はお忙しい中、ありがとうございます。リスターがどんどん増えることをお祈りします。

## 暫時休憩

きゆうけい

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。

▼昨年の世相を表す漢字一文字は「輪」。東京五輪決定や災害支援の輪が広がったことが理由。  
自分の昨年を振り返ってみるが、漢字一文字で表すのはとても難しい。

▼四年後に廃止される減反補助金。ますます農業離れや耕作放棄地の増加に拍車がかかるのでは。

▼四年連続で豪雪対策本部が設置された。雪による事故が多発。慣れた雪でも油断せず、細心の注意を。

▼今年も想定外も含めた災害もななく、穏やかな年となるよう願っている。

(委員長・谷藤 怜子)



ジュネス栗駒スキー場山頂